

《2年生》

せっかく「文型」「理型」と分かれて本格的にスタートしようとした時の休校で、戸惑っていることと思います。しかし、1年後には皆さんも希望進路実現に向けて本格的に始動します。各自課題があるとはいえ、休校中の今だからこそできることを見つけて取り組んでみよう！

1. 生活リズムを確立して、学習習慣を身につける

1年時は、学校生活に慣れることや部活動で、規則正しい生活を送れなかった人も多いのではないかと思います。また、ゲームやスマホに時間を取られて、学習時間を確保できていない人はいませんか。1日の中で、自分の好きなことをする時間とやるべきことを主体的に行う時間とのバランスを整えよう。今は比較的時間に余裕があるはず。与えられた課題をしっかりとこなした上で、**自ら課題を見つけて取り組む時間を最低2時間設けてみよう**。自分の意思で行う学習時間は、やらされる時間の何倍もの価値と効果があります。

2. 苦手科目を克服しよう！

「数学」が苦手だから文型を選択した人、「国語」が嫌いだから「理型」を選択した人はいませんか。苦手科目を捨てる癖をつけてしまうと、思うような進路に進むことはできません。文系大学では「数学」の成績で入試が左右されたり、また入学後に「数学」で苦勞することもよくあります。理系大学では「国語」力がないために、数学の問題が解けないといったこともあります。もちろん「英語」は苦手でも捨てることはできません。**得手、不得手はあっても簡単に捨てるのではなく、なんとか克服する努力をしてください**。科目を絞らず、多くの科目で受験できる方が、入試でも圧倒的に有利です。

休校中は授業が前に進まない分、**今までの遅れを挽回するには絶好の機会です**。1年時の教科書や問題集を出してきて、じっくりと復習をしてみよう！ちょっとしたきっかけで、苦手科目が得意科目になることもあるのですよ！

3. 幅広く大学や学部について調べよう！

1年後に受験生になるにあたって、どんな大学を志望しますか。という前にどれくらいの大学を知っていますか。大学は神戸大学と関西学院大学だけではありません。**日本全国には786もの大学があります**。「家から通える大学」に行くのは必ずしも悪いことではありませんが、選択肢を絞るのは決しておすすめできません。少し範囲を広げるだけで、自分に合った大学が見つかるかもしれません。①**地元の国公立大学**、②**地元の私立大学**、③**地方や首都圏の国公立大学**、④**地方や首都圏の私立大学**、それぞれ複数(最低2~3校ずつ)について、どこにあるか、どんな学部があるか、入試科目は何か等について調べてみよう！